

第13回 世論・選挙調査研究大会

大会テーマ

「ポストRDD時代と選挙報道」

13:30	開会のスピーチ	坂井 貴文(埼玉大学学長)
13:40	第一部〔報告〕	
	1.「インターネット調査による地方選挙情勢調査の可能性」	
		江口 達也(朝日新聞社世論調査部)
	2.「2022年参議院選挙におけるインターネット調査と予測手法の検討」	
		福田 昌史(読売新聞東京本社世論調査部)
	3.「統一地方選・衆参5補選で進化したdサーベイ」	
		平田 崇浩(社会調査研究センター調査研究部)
15:10	休憩	
15:20	第二部〔討論〕	
	「選挙報道のゆくえ」	
	討論者：	杉田 淳(NHK報道局選挙プロジェクト副部長)
		堀江 浩(元朝日新聞編集委員)
	司会者：	松本 正生(埼玉大学名誉教授)
16:50	閉会のスピーチ	
	講評をかねて	前田 浩智(毎日新聞社主筆)

日時：2023年9月8日(金) 13:30～17:00 (13時受付開始)

会場：埼玉大学 大学会館3階 大集会室 (ローソンのある棟)

参加費：無料

参加方法：会場(埼玉大学) または オンライン(Zoom)

URL: <http://ssrc-saitama.jp/>

開会あいさつ

本日は世論・選挙調査研究大会にご参加いただき誠にありがとうございます。

ご案内の通り、社会調査研究センターは、2009年4月に本学において社会調査士、専門社会調査士の養成を行うとともに、自治体や企業からの依頼に応じ社会調査や世論調査を行うことを目的に設立されました。2020年には、本センターのセンター長である松本先生が積み重ねてきたノウハウを活かし、社会調査の設計から実施までのコンサルティングに応じることを目的とした、本学発のベンチャー企業として株式会社社会調査研究センターが発足しています。



埼玉大学 学長
坂井 貴文

毎年開催してきました「世論・選挙調査研究大会」は、本年度13回を数えることとなり、毎回、新しい調査方法に関する発表が行われ、調査関係者のみなさまから大きな注目を頂戴してまいりました。今回は「ポストRDD時代と選挙報道」というタイトルで、コロナ禍が終息したことを受けて、久しぶりに対面方式を復活させ、オンラインでも同時配信を行うと聴いております。どうぞ活発なご議論をしていただければと存じます。

さて、誠に残念ではありますが、長年続けてまいりました本研究大会も、この13回をもちまして終了ということになります。これまで、全国各地から参加し続けてくださったみなさまに、あらためて感謝申し上げます。加えて、多忙な業務を抱えているにもかかわらず、準備をいとわずに、ご報告を寄せてくださった多くの報道機関ならびに調査会社の皆様方に対して、心からの感謝を申し述べたいと存じます。

なお、株式会社社会調査研究センターは、引き続き本学を所在地として、調査業界における不可欠な存在を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げまして私からの挨拶とさせていただきます。重ねまして、本日のご参加に感謝申し上げます。